

「地域リハビリテーション出前講座」講座内容例

- ・内容例をもとに、詳細については申込校の希望に基づき、講師と協議のうえ内容を調整。
- ・対面方式を想定した内容のため、オンライン方式の場合は内容等ご相談ください。

テーマ	仕事を知ることから、リハビリテーションを理解しよう！
学習のねらい	リハビリテーションを深く理解するために、そこに携わる職業を学ぶ
趣旨	<p>本講座では、ケガや病気などにより心身に障害のある人の社会参加・社会復帰などの「全人的な復権」を目指すリハビリテーションについて知り、そこに携わる職業を理解することで将来の職業選択の幅を拡げることを目的とします。</p> <p>リハビリテーションに主に携わる理学療法士や作業療法士、言語聴覚士を例として、その仕事内容ややりがい、資格取得に関する講義を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士：立つ・歩く・走るなど人の基本的な動作能力の改善を目指して、運動療法や物理療法などを行う身体づくりと動作の専門家 ・作業療法士：食べること、お風呂に入ることや趣味活動など日々の何気ない”作業”を通じて、心と身体にアプローチする専門家 ・言語聴覚士：日常生活で欠かすことのできない、“ことば” “きこえ”などのコミュニケーションや嚥下（飲み込み）の専門家
内容	<p>実施校の授業のねらいや希望をもとに、授業内容を決定します。</p> <p>座学・体験を組み合わせた授業内容で構成予定です。</p> <p>授業進め方例)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士とは？ それぞれの職業の紹介、仕事内容、やりがい、資格取得までの流れなどを学びます。 2) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の仕事の実例) 例) ・各職業の仕事に関する体験 <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子体験を通じた職業の理解 ・障害者疑似体験を通じた職業の理解 3) まとめ <p>※講師の確保状況により実施できる内容が一部異なります。</p>
必要物品	授業内容により講師と打ち合わせ 例) 車椅子、障害者疑似体験セットなど
対応人数	実施校の希望にそって対応。単独のクラス、複数クラスでの実施も可能（内容、人数により要相談）
時間数	各学校の授業時間に準じます。2コマ続きの授業も可能（要相談）